于	未恢安战	明ン一ト				7	为于未由 与	01122		
	事務事業名	財政運営事業								
事業開始年度		担当部署					務部財政課			
	根拠法令									
実施方法		■直営 □委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:)		
)		
目 的 (何のために)		安定的な行政サービスの確保や新たな施策・財政需要に柔軟に対応できる財政構造の構築を目的とする。								
対 象 (誰・何を対象に)		市民								
事業内容		①予算の編成及び執行管理に関すること。 ②財政計画及び資金計画に関すること。 ③市債及び地方交付税に関すること。								
類似事業										
事業の必要性		上記目的を達成するため、健全な財政状況を維持する必要があるため。								
	コスト									
		H22年度決算		H23年度決算		H24年度	H24年度当初予算			
		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費			
	正職員	5.99 人	48,603 千円	5.99 人	48,459 F		47,920 千円			
	再任用職員	人	0 千円	人	0 F	7	0 千円			
	非常勤職員等	人	19 602 千	人	19 150 F		47 020 千			
	人件費計(A)		48,603 _円 千		48,459 P]	47,920 円 千			
F	直接経費(B) 総事業費(A+B)		円		P]	円			
	財源内訳	48,603 十 48,459 十			47,920 円					
共力が下り引く		H22年度決算		H23年度決算		H24年度当初予算				
_ [国庫支出金		千 円		1	<u>.</u>	千円			
F	 存支出金		千円			:	千円			
, and	受益者負担 使用料等)		千円		1 P	<u> </u>	千 円			
2	その他		千円		1 P]	千円			
Ŀ	一般財源		48,603 千円		48,459 F	- }	47,920 千円			
平成23年度 事業費の主な内訳 (人件費除く)		内容					金	額		
								千円		
								千円		
							I	千 田		

事業概要説明シート

, TITIOS THE							
事務事業名	財政運営事業						
事業開始年度		担当部署	財務部財政課				

事業開始年度			担当部者		<u></u>		
	活動指標もしくは原	<mark>戊果指標</mark>	単位	H22年度	H23年度	H24年度(見込み)	
活動実績	① 実質収支		億円	12	14	14	
<u> </u>	2						
	3						
単位当たりコスト	1						
(総事業費/活動指標)	2						
	3						
成果目標 (目標とする成果)	実質収支黒字の維持						
比較参考値 (他自治体での 事業の例など)							
特記事項	本市では財政運営における3つの基本姿勢を踏まえた取り組みをおこなっています。 ①財政構造の弾力性の向上・・・市税収入が大きく回復することが期待できない一方で、扶助費の増加が続く中、弾力性の向上に向けて、行財政改革に取り組んでいます。 ②財政運営の堅実性の確保・・・収支均衡を図ることを基本とし、予算編成段階においては「長期財政の見通し」を踏まえるとともに、限られた財源の範囲内での予算編成を行うことや、財政健全化法に規定されている4つの指標や「経常収支比率」などの指標についても留意しながら財政運営を行っています。 ③人口減少を見据えた次世代への負担軽減・・・次世代の負担となる地方債残高を抑制するため、地方債の繰上償還を行ったほか、市債の償還が前倒しになるよう償還方法の見直しを行いました。また、将来負担に備え、基金の増額を図りました。						
一次点検における 事業の今後の方向 性及び具体的な今 後の取り組み方策	<mark>向</mark> 現状のまま継続 収支均衡を保ち、新たな市民ニーズへの対の確立に努める。			ニーズへの対応	応が可能な、安定した財政構造		
一次評価結果	公会計制度の今後の取り組みの方向性はどう考えているのか、財政健全化のための財政構造の見直しが必要では						
二次点検における 事業の今後の方向 性及び具体的な今 後の取り組み方策	現状のまま継続	本市では「総務省」 計における財務書類 体を含めた連結財務 いる。 今後の公会計制度 る。	負4表を作成 各書類4表の	し、平成20年月 作成を行い、分	を決算からは特別 分析や利用方法の	引会計や外郭団 の検証を行って	